

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>

145号

2012年10月25日



ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 鈴木博之氏講演

「東京駅の復原」

時 11月2日(金) 17時～18時

所 ギャラリー服部

無料 定員になり次第締め切り

今、東京駅が復元され、ライトアップなど話題になっています。景観を守る会の代表であり二丁目の住民である鈴木博之さんが文化財保護の立場から深く関わり、お名前を新聞などで散見しますが、お忙しい中を常盤台住民のために時間を割いてくださいました。パワーポイントを使った講演です。是非お出てください。

○ 高度利用地区撤回へ

署名運動ははじめます

前号でお知らせしたとおり、この常盤台は駅から始まる放射状の道路を基に企画分譲された街です。駅前の商業地域が独立しているわけではありません。ましてや、商業ビルならともかく、規制緩和で天空率やら総合設計やらで目一杯儲けようとするだけの高層マンションは迷惑としか言いようがありません。業者に売りつけられて既に住んでいる人には申し訳ありませんが…。

区が今計画中の「最高限度高度地区…導入」の常盤台北口駅前から、「高層」(中山道沿道や主要な駅前など、高度利用を図る街並み)という方針を止めてもらうよう、署名運動をはじめます。

常盤台住民が駅前の高層化に反対なのは、2003年に集まった皆さんの署名で充分なはずですが、都市建設委員会でもその重みは無視されているのが実情です。

どうか署名にご協力をお願いします。

○ ロータリーコンサート中止

10月7日に行われる予定だったロータリーコンサートは雨天のため、中止になりました。

松原広地さん指揮の東京アカデミー室内合奏団・オカリナ演奏など、楽しみにしていた人も多かったと思いますが、また来年出演の機会があるかと思います。

○ 次回ロータリーコンサートは恒例のクリスマスキャロル

出演 常盤台バプテスト教会聖歌隊

時 12月16日(日) 17時～

所 北口駅前ロータリー

○ 都市計画審議会委員への「お願い」 渡すことを板橋区が拒否

常盤台の景観を守る会では、「最高限度高度地区指定方針」について、関連する審議会のメンバーに常盤台住民の意見を伝えようと、審議会での説明の場を設けてほしいという「お願い」と、住民に景観利益を認めた東京地裁の判決文のコピーを準備しました。

景観審議会には担当職員が後日郵送してくれて渡すことが出来ましたが、同じものを都市計画審議会に渡すについては、都市整備部から拒否されました。理由はそういう制度になっていないからだそうです。

では住民が意見を伝えるにはどういう手段があるのか、という質問には、パブコメしかないという返事。審議会委員と住民が接触することが嫌なのでしょうか。審議会委員は区の職員の説明を鵜呑みにするだけで、区民の意見はいつでも良いのでしょうか。誰のための区政か、根本的に間違っていないか？

クルドサツクの街灯

区の土木課がクルドサツクの街灯を塗り直しました。色は目立たない色ということで茶色です。欲を言えばつや消しの方が良かったかもしれませんが、じきに風雨にさらされて自然につや消しになることでしよう。

街灯の向きも換えてくれました。欲を言えば正面に正対するのではなく、若干角度があると風情が出るのですが……

誰がこのデザインを採用したのか不明ですが、殺風景な棒状の蛍光灯でなく、ちよつとトロなこの街灯は、クルドサツクに良く合っています。プロムナードの街灯ももう少しおしゃれになると良いようです。

水島信さんその後

常盤台に六月・九月と辻説法に見えた建築家水島信さんが、駅前の写真を撮るついでに、本蓮沼駅から前野町を通って歩きながら街の様子を見て行きました。

このあたりで起きていることは、日本の建築問題の縮図と言えるそうです。

特にペンタックス跡地について警告していましたが、あそこで計画されている巨大マンションは、今狛江で起きているのと同じ問題を引き起こすだろうと。

しかし、誰も今声を上げていないように思います。狛江市民は立ち上がったのに、板橋区民はなんとおとなしいのでしょうか。悪く言えば私達は愚鈍なかもしれないですね。

ゴミの問題

ゴミの回収はなかなか難しい問題です。

個人個人での回収は、区では今のところ考えていないそうです。そこで何軒かで話し合いの上、指定の曜日に指定の場所にまとめて出すわけですが、週一回はビン・缶の箱とペットボトル容器の出し入れがあり、防鳥ネットの始末もしなければなりません。

上手に分担しているところでは色々工夫があるようです。

例えばYさんの近所では、お年寄りだけの世帯・道を毎日清掃してくれる人、ゴミの置き場の提供者には負担を配慮して、残りの四軒ぐらいで一年交替でゴミ当番を回しているそうです。

また、Kさんのところでは、カラスに散らかされないように、原則ポリバケツで出しています。Hさんが使っていない裏口を提供して、Kさんが自発的に毎回ビン・缶の箱の出し入れをしています。

Tさんのところでは、防鳥ネットはわずらわしいので止めてしまい、回収時間のごく間に際は一斉に皆で出すことにしているそうです。すると、ゴミが出ている時間が少なく、カラスの被害もありません。しかし、勤めに行く人など、その時間にいられない人は困るかもしれません。

誰もやりたくない負担ですが、ゴミを出す以上、誰かがやらなければならぬのですから、思いやりと犠牲的精神、そして感謝の気持ちがないとやっていけない問題です。

常盤台公園のはなづくり

天候不順で狂い咲きが色々ありました。

Tさんの話では公園のソメイヨシノの幹から出ている花芽が咲いていたということでした。

彼岸花が今年はお彼岸に咲きませんでした。十月になってからやっと咲いたくらいズレていました。

天祖神社脇の木蓮の街路樹が九月に二輪ほど咲きました。ほとんどは白モクレンですが、二本ほど紅モクレンがあります。その根元から出た枝から咲いているのを見ました。他の木も蕾を沢山つけていたので、このまま咲くのかなと思いましたが、咲く間もなく寒くなってきました。マグノリアの仲間は毛に包まれた芽のまま冬を越すそうです。

今年のチューリップを何色にしようか考慮中です。何人かに希望を聞くと、みな一様に遠くを見つめるような表情をして「あか・しろ・きいろ」というのです。どうもチューリップという昔の「お絵かき」でクレヨンで塗った花を思い出し、あの童謡が脳裏に浮かぶようです。

今のチューリップは「赤・白・黄色」などという単純なものではありません。多彩なものも楽しいものですが、一色で揃えるのもインパクトがあるので迷います。

定例会十一月三日(土) 七時

「ギャラリー服部」にて